

第444号 2018年3月1日
弘前大学総務部総務広報課

イベントのお知らせ

弘前大学資料館第18回企画展について

弘前大学資料館では第18回企画展「弘前×フランス 外国語教育×フィールドワークの可能性」を2月21日より4月28日まで開催いたします。

「複数言語・複数文化教育プロジェクト（フランス語モデル）」（2014年度以降の通称：「弘前×フランスプロジェクト」）は、他の外国語教育や地域活性化に応用できるモデル構築をめざし、多言語・多文化環境になかった地方都市＝弘前で、フランス語（文化）をきっかけとした人づくり、まちづくりを試みてきました。

学会では「自分たちで創り出すフランス文化（多文化）」、「町を発見するためのフランス語（外国語）」の可能性を問いかける先行例として紹介され、新しい発想の教育研究グループが生まれたり、学生主体の学びの取り組みとして他県の教員・学生が交流研修で弘前を訪れたりし、教育研究の大学間交流につながりつつあります。その一区切りとして、関連事業も含めた4年間の取り組みの概要を紹介します。

みなさまのご来館をお待ちしております。

○弘前大学資料館第18回企画展

「弘前×フランス 外国語教育×フィールドワークの可能性」

会 期：2018年2月21日（水）～2018年4月28日（土）
（日・祝・休日は休館）

時 間：10：00～16：00

場 所：弘前大学資料館

本件問い合わせ先

- ・弘前大学資料館 電話：0172-39-3432
E-mail：jm3432@hirosaki-u.ac.jp
- ・弘前大学人文社会科学部 地域未来創生センター
電話：0172-39-3198
E-mail：irrc@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学資料館第18回企画展
「弘前×フランス」
外国語教育×フィールドワークの可能性
2月21日から4月28日まで
開館 10時から16時 日曜・祭日休館 入館料無料
主催 弘前大学資料館 協賛 弘前大学 協賛 弘前大学地域未来創生センター
お問い合わせ先 弘前大学資料館 電話 0172-39-3432 E-mail jm3432@hirosaki-u.ac.jp



平成 29 年度地域未来創生センターフォーラム 「東日本大震災からの復興を考える」開催

平成 29 年度地域未来創生センターフォーラム

「東日本大震災からの復興を考える」-小規模被災地域における人口動態と復興政策-

1. 目的：

地域未来創生センターは、未曾有の被害をもたらした東日本大震災における支援活動の一環として村民の生活実態や復興状況などに関する調査・研究活動を継続しております。本フォーラムは、

これからの野田村を考えるために、2017年8月に実施致しました「野田村出身のみなさまの暮らしとお仕事に関するアンケート調査」の結果を用いて、野田村の将来の人口予測や持続可能な村づくりのために必要なのは何かを考え、人口減少の時代の中で災害からの復興について模索することを目的として開催致します。

2. 日程：平成30年3月10日(土) 14時30分～16時50分

3. 場所：弘前市民文化交流館ホール

4. 主催：弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター
後援：弘前大学ボランティアセンター，チーム北リアス
弘前市，野田村，弘前市社会福祉協議会，
野田村社会福祉協議会

5. 対象：100名(一般の方・行政関係者・学生)

6. 参加料：無料

7. 申込み：不要・当日の参加が可能

8. 問い合わせ先：弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター
住所：青森県弘前市文京町1 電話：0172-39-3198
E-mail: irrc@hirosaki-u.ac.jp 平日 10:15～17:00



9. プログラム

14:00 開場

14:30 開会・主催者挨拶 ●李永俊（弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター長）

第1部 野田村中学校同窓会調査結果報告

- 李永俊（弘前大学人文社会科学部・教授）
- 永田素彦氏（京都大学大学院人間・環境学研究科・教授）
- 山口恵子氏（東京学芸大学教育学部・准教授）

第2部 パネルディスカッション

コーディネーター●李永俊（弘前大学人文社会科学部・教授）

パネリスト

- 渥美公秀氏（大阪大学大学院人間科学研究科・教授）
- 河村信治氏（八戸工業高等専門学校・教授）
- 小野寺健二氏（のだむラジヲ開局準備会代表）
- 永田素彦氏（京都大学大学院人間・環境学研究科・教授）
- 山口恵子氏（東京学芸大学教育学部・准教授）

16:50 主催者挨拶・閉会 ●李永俊（弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター長）

平成29年度「原子力規制人材育成事業」先端放射線科学講演会開催のご案内

弘前大学大学院保健学研究科では、平成29年度原子力規制人材育成事業「原子力災害における放射線被ばく事故対応に向けた総合的人材育成プログラム」の一環として、先端放射線科学講演会を下記の通り開催します。

1993年に設立されたアイルランド環境保護庁Environment Protection Agency (EPA), Ireland は、2014年にアイルランド放射線防護研究所と合併し、アイルランド国民のために環境の保護・改

善に貢献し現在に至っています。このたび、EPAの放射線防護及び環境モニタリングオフィスからヴェロニカ・スミス先生をお招きし、ご講演いただけることになりました。近隣諸国における原子力災害を想定した世界先端の対応について学ぶよい機会となっております。

事前申込みは不要ですので、多数の皆様のご参加をお待ちしております。

記

【演題】 “Challenges in Nuclear Emergency Preparedness and Response in a Non-nuclear Country”

(原子力施設を有しない国における原子力緊急事態への備えと対応への挑戦)

【講師】 Ms. Veronica Smith (EPA, Ireland)

【日時】 平成30年3月14日(水) 16時00分～17時20分

【場所】 保健学研究科F棟1階 大学院講義室1

【対象】 学生, 教職員

【お問合せ】 保健学研究科 総務グループ TEL: 0172-39-5518



新学術領域研究「動物における配偶子発生システムの制御」の国際シンポジウム開催のお知らせ

新学術領域研究「動物における配偶子発生システムの制御」の国際シンポジウムを農学生命科学部研究推進セミナー事業との共催で開催します。

今回はUniversity of Wisconsin-MadisonのPhillip Newmark先生を招聘して、プラナリア、マウス、ショウジョウバエを材料にした生殖細胞形成機構や分化万能性の研究について、それぞれの分野で活躍している研究者とともに話題を提供します。

発表は英語で行なわれますが、Speakerにはなるべくゆっくり話すようお願いしてありますので、学部学生の皆さんでも関心のある方は是非参加してください。

Phillip Newmark先生はプラナリア生殖細胞研究の世界的権威の先生です。

【日時】 平成30年3月29日(木) 13:00～17:00

【会場】 弘前大学創立50周年記念会館みちのくホール

【対象】 どなたでも参加いただけます。

【参加費】 無料

【申込】 事前申込は不要です。

【問合せ先】

弘前大学農学生命科学部生物学科 准教授 小林一也

E-mail kobkyram@hirosaki-u.ac.jp

The International Research Symposium on
Germness and Pluripotency of the Planarians
in comparison with the Fly and Mouse Systems

動物における配偶子発生システムの制御
Mammals require germs for germs in germs

弘前市民対象「おもてなし英語セミナー」開催のお知らせ（再掲）

弘前市民対象「おもてなし英語セミナー」

楽しく話しておもてなし英語～わんどの弘前を外国人に紹介するべ～

- ・と き 3月5日(月), 7日(水), 8日(木)
(3日間は別内容, 任意の日だけの参加も可能)
午後4時～午後7時
- ・ところ 弘前大学総合教育棟2階イングリッシュ・ラウンジ
(弘前市文京町1)
- ・内 容 弘前市観光および国際交流に関心のある住民の方
(20～30名程度)をイングリッシュ・ラウンジに招待して,
外国人教員からおもてなしの英語を習ったあと, ホテル, レス
トランや観光案内を想定して参加者全員で楽しくおもてなし英
会話の練習を行います。
- ・対 象 観光・旅行事業関係および国際交流に関心がある人
- ・定 員 各日30人(先着順)
- ・講 師 イングリッシュ・ラウンジのネイティブ・日本人教員ほか(弘前大学)
- ・参加料 無料(教材を配布します)



■問い合わせ・申込先

2月28日(水)までに, 郵送, 電話またはEメール

住所 〒036-8560 青森県弘前市文京町1 弘前大学イングリッシュ・ラウンジ 多田 恵実
(Tel:0172-36-2111(大代表), Email: tadameg@hirosaki-u.ac.jpへ。)

※詳しくはホームページまで。申込み用紙はホームページからダウンロードしてください。

<http://culture.cc.hirosaki-u.ac.jp/EL/Welcome.html>

弘前大学大学院理工学研究科最終講義のお知らせ（再掲）

理工学研究科では, 本年度をもって退職される地球環境防災学科 柴 正敏 教授, 数物科学科 加藤 博雄 教授の最終講義を下記により行いますので, ご案内申し上げます。

○柴正敏教授最終講義

日時: 平成30年3月3日(土) 15:00～16:30(開場14:30～)

場所: 理工学部1号館5階第10講義室

演題: 「石の上にも39年」

【問合せ先】

地球環境防災学科 根本 直樹

T E L : 0172-39-3618 E-mail : nemoto@hirosaki-u.ac.jp

○加藤博雄教授最終講義

日時: 平成30年3月6日(火) 15:00～

場所: 弘前大学 理工学部1号館4階第8講義室

演題: 「血と汗と涙, そして人, 人, 人」

【問い合わせ先】

数物科学科 藤川 安仁

T E L : 0172-39-3549 E-mail : fujikawa@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学北日本新エネルギー研究所 平成29年度(第2回)新エネルギーフォーラム
『北日本新エネルギー研究所の設立後7年間と今後の飛躍』のお知らせ(再掲)

北日本新エネルギー研究所では、新エネルギーの利用による低炭素社会の構築、地域における新産業創造及び雇用の場の創出を図るため、研究発表や情報交換等を目的とした「新エネルギーフォーラム」を開催しています。

今年度第2回目のフォーラムは、『北日本新エネルギー研究所の設立後7年間と今後の飛躍』をテーマに、第1部では2件の基調講演、第2部では当研究所各部門のこれまでと今後について講演いたします。

多数のみなさま方のご参加をお待ち申し上げます。

- 【日 時】平成30年3月6日(火) 14:30~17:00
【場 所】弘前大学創立50周年記念会館岩木ホール
【定 員】80名
【参加費】無料
【対 象】教職員、企業等関係者、一般市民、学生など

【プログラム】

＜第1部＞ 基調講演

講演1: 「再生可能エネルギーアンサンブルを奏でよう！」

再生可能エネルギー協議会理事長・東京農工大学名誉教授 黒川 浩助 氏

講演2: 「地方創生としての再生可能エネルギー研究」

国立研究開発法人産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所

上席イノベーションコーディネータ 近藤 道雄 氏

＜第2部＞ 各部門のこれまでと今後

講演1: エネルギー材料工学部門・教授 伊高 健治

講演2: エネルギー変換工学部門・教授 官 国清

講演3: 地球熱利用総合部門・教授 井岡 聖一郎

講演4: 海洋エネルギー工学部門・教授 本田 明弘

講演5: 海洋エネルギー利活用部門・教授 桐原 慎二

【申込み】参加希望者は、氏名、所属・役職、連絡先を明記の上、平成30年2月28日(水)までに
E-mail(njne@hirosaki-u.ac.jp)またはFAX(017-735-5411)にてお申込みください。

【主 催】弘前大学北日本新エネルギー研究所

【問合せ先】北日本新エネルギー研究所 総務グループ 石岡, 工藤

TEL: 017-735-3363 E-mail: njne@hirosaki-u.ac.jp

【研究所HP】 <http://njrise.cc.hirosaki-u.ac.jp/>



2018年 弘前大学白神研究会 積雪季観察会
白神山地スノートレッキング ~冬の十二湖を散策しましょう~ (再掲)

▽と き 3月10日(土) 午前10時30分~午後2時30分(雪・雨天決行)

▽コース 深浦町: 十二湖ビジターセンター-青池-金山の池-湧き壺の池巡回

▽集 合 アオーネ白神十二湖（旧サンタランド）駐車場
（車のない方はお申し出下さい。7時30分弘前大学正門集合です）

▽参加人数 20名

▽対 象 小学4年生以上（小中学生は保護者同伴）

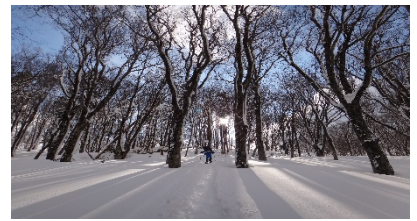
雪の中を4時間ほど歩きますので、高血圧、心臓疾患など持病のある方は、医師にご相談の上ご参加下さい。

▽服装・装備

服装はスキーウェア。足は長靴が最適。オーバーズボンあるいはロングスパッツがあるといいです。かんじき・スノーシュー（ない方はお貸しします）。スキーのストック。お弁当、暖かい飲み物。

▽参加費用 1人1000円（テキスト・傷害保険代金）＊白神研究会会員の方は500円

▽主 催 弘前大学白神研究会



弘前大学白神研究会

▽問い合わせ

弘前大学農学生命科学部 白神研究会事務局：本多 Tel/Fax 0172-39-3812

E-mail：honda@hirosaki-u.ac.jp

▽申 込 弘前大学白神自然環境研究所：山岸Tel/Fax 0172-39-3706

E-mail：hyama@hirosaki-u.ac.jp

▽締切日 最終申込日は3月7日（水）ですが、定員になり次第締め切ります。

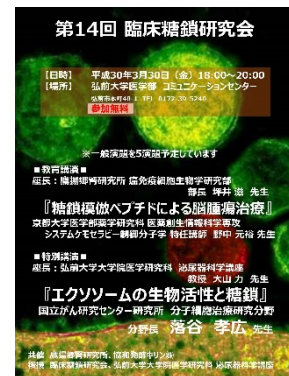
『第14回臨床糖鎖研究会』について（再掲）

日 時：平成30年3月30日（金）18：00～20：00

場 所：弘前大学医学部コミュニケーションセンター

参加費：無料

対 象：教職員 学生 大学院生 糖鎖の興味がある方



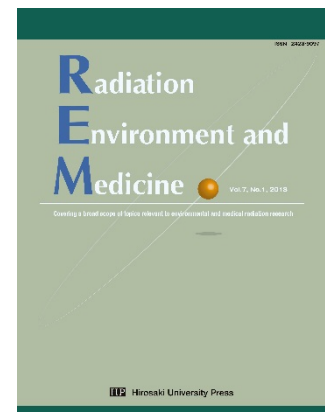
学 内 掲 示 板

弘前大学出版会から新刊のご案内

Radiation Environment and Medicine 編集委員会 編
「Radiation Environment and Medicine Vol.7 No.1」（A4変形判・pp.1-64、定価1,188円：税込）を出版しました。

～紹介文～

弘前大学は、さまざまな原子力関連施設が立地する青森県における唯一の総合大学として、万が一の事態に際して地域の安心・安全を確保するため、被ばく医療に関連する取組みを平成20年度から推進してきており、平成27年8月には原子力規制委員会から原子力災害医療に対応する施設として「高度被ばく医療支援センター」及び「原子力災害医療・総合支援センター」の指定を受けるに至りました。これに合わせて弘前大学放射線安全推進会議の下に「放射線安全総合支援センター」が設置されました。



これまでの弘前大学による被ばく医療関連の人材育成事業の一環として平成24年3月に刊行を開始した被ばく医療に関する学術誌 Radiation Emergency Medicineは、第5巻1号から、より広い分野からの投稿に対応する目的で、誌名をRadiation Environment and Medicineに改めました。

第7巻1号には、MRIの画像診断に関する臨床研究・放射線計測・線量評価・放射線のリスクコミュニケーション等9報の論文に加えて、「平成28年度青森県原子力災害医療実践対応指導者育成研修」の報告が掲載されております。

今後も、放射線防護、線量評価、生物影響、放射線計測、被ばく医療教育、放射化学分析、放射線看護、疫学調査、臨床研究など放射線科学の幅広い分野にわたる論文を掲載していく予定です。

皆様からの投稿をお待ちしております。※本誌は英文表記となります。

ご興味をお持ちの方は大学生協または市内の書店でお買い求め下さい。

学長オフィスアワー変更のお知らせ

学長と本学学生・教職員が直接対話する機会を設けるため、学長オフィスアワーを毎月第1金曜日及び第3木曜日に実施しておりますが、オフィスアワーの日程変更がありますのでお知らせいたします。

【中止】 平成30年2月21日（水）15：00～17：00

問い合わせ先：弘前大学総務部総務広報課（秘書室）TEL：0172-39-3004

URL：<http://www.hirosaki-u.ac.jp/information/about/president/officehour.html>

国立大学協会情報誌「国立大学」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「国立大学」を作成しています。

「国立大学第47号」では、「発見！国立大学」において、弘前大学公式ウェブマガジン「HIROMAGA（ヒロマガ）」が紹介されています。ぜひご覧ください。

（本学関連記事掲載）最新号「国立大学第47号」

<http://www.janu.jp/report/koho/47gou.html>

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧ください。

<http://www.janu.jp/report/>

その他、第45号・第43号・第39号・第36号・第31号・第28号等において、本学記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から：講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿を発行予定日（毎月1日と16日の2回）の7日程度前までに、下記担当にご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部総務広報課 広報グループ

E-mail：jm3012@hirosaki-u.ac.jp FAX:37-6594 内線：3029